

汎太平洋 非破壊検査 Symposium 및

展示会開催

当 會議에서는 非破壊検査에 <sup>의</sup> ~~있~~ <sup>이</sup> ~~사~~ <sup>의</sup> 國際協力과 技術向上을 目的으로 汎太平洋 非破壊検査技術 Symposium 및 展示会開催를 1978.4.26 ~ 4.28 ( 3 日間 ) 까지 開催하오니 많은 參與를 바라며, 論文發表 및 展示회에 參與하실 分은 다음 案内書를 檢討하시어 當 會議事務局 ( 794-3191 ) 으로 問議바랍니다.

Symposium 案 內 書

汎太平洋 非破壊検査 技術 Symposium 및 展示会

1. 日 時 : 1978. 4. 26 ( 水 ) ~ 4.28 ( 金 )  
Symposium : 1978.4.26 ~ 4.28  
展 示 会 : 1978.4.26 ~ 4.28  
産業視察및觀光 : 1978.4.29 ~ 5. 1
2. 場 所 : Symposium : 貿易會館 國際會議室  
展 示 會 : 貿易會館 展示室 ( 2 層 )
3. 主 催 : 韓國原子力産業會議  
汎太平洋 非破壊検査 委員會 ( PPCNDT )
4. 後 援 : 科學技術處, 工業振興庁 韓國原子力研究所, 內外經濟日報社
5. 協 贊 : 日本 非破壊検査協會, 關聯企業體
6. 使用 言語 : 英語, 日語 ( 但, 同時通訳함 )

7. 参加申請要領 :

申請磨勘

가. 国内参加者 : 1978.3.25

나. 海外参加者 : 1978.2.28

8. 展 示 会 :

1) 展示品目

가. 非破壞檢査機器全般

나. 会社 또는 N.D.T. 宣伝用品

다. N.D.T. 에 關係된 写真

라. 其他 이에 關聯된 品目

2) 經費負擔 : 出品에 必要한 費用一切는 出品者가 負擔하며,  
展示에 必要한 場所의 費用은 坪当 價格으로 한다  
(詳細한 것은 当 會議에 問議)

3) 物品保管責任 : 出品된 物品에 對한 保管責任은 主催側이 負擔한다.

9. 論文提出要領 :

1) 提出磨勘日 : 論文題目 - 1977.12.28.

論文原稿 - 1978. 2.25.

2) 論文作成方法 :

가. 国, 英文으로 各 2 部씩 作成

나. 論文은 A4 타이프用紙에 40 ~ 50 줄로 타이핑되어야 한다  
다. 圖面은 写真撮影하여 適当히 挿入한다.

라. 写真도 圖面과 같다.

마. 論文當 發表時間은 25 ~ 30 分을 基準으로 하나 論文에  
따라 變更될 수도 있다.

10. 産業視察 및 觀光

가. 參加申請: 1978.3.10 까지

나. 參加經費: 自費負擔

11. 其 他:

1) 基調講演議題: 各國의 N.D.T 現況

2) 技術講演議題: N.D.T. 全般에 걸친 技術的인 問題

3) Pannel Discussion 議題

가. 太平洋地域에 있어서의 N.D.T. 振興方案

나. 技術者の 資格認定 制度

다. 各國間의 協力問題

日 程 計 劃 表

日 字	時 間	內 容	備 考
4.26 (水)	14:00~15:00	登 錄	
	15:00	開會式	
	16:00~17:30	基調講演	
	18:00~19:30	Reception	
4.27 (木)	09:30~12:30	RT 및 UT 關係論文發表	
	14:00~17:30	UT 및 MT "	
4.28 (金)	09:30~12:30	PT, AE 및 其他論文發表	
	13:30~17:30	綜合討議	

日 字	時 間	内 容	備 考
4.28 (土)	08:30	産業視察團 서울출발	慶州에서 宿泊
	14:30 ~ 16:30	浦項제철視察	
	17:20	慶州到着	
4.30 (日)	09:00 ~ 12:00	慶州觀光	釜山에서 宿泊
	14:00 ~ 15:00	現代造船 視察	
	16:00	釜山到着 및 釜山市内觀光	
5. 1 (月)	09:00	釜山出發	
	16:00	서울到着	